

2019年度（2019.5.1～2020.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（福井県社会保障推進協議会） 記入者（錦織 龍彦）

この一年間の取り組みの特徴について

2019年度は北信越ブロックで開催される第47回中央社保学校（金沢市）に福井県社保協として実行委員会に参加をし、主体的に参加組織、当日の運営を担うことで県内の社保運動の広がりをつくることをめざした。社保学校にはこれまでにない、延べ75人の参加をつくりだすことができた。

3月の福井県議会を前に、福井県が子どもの医療費助成の拡大案を発表した。これにより、2020年10月から福井県が中学校3年までのこどもの医療費を助成することになり、各自治体の対応が注目された。県内17自治体のうち、3自治体はすでに高校3年までの助成を実施していることから残る14自治体も現行の中学3年までから高校3年までに助成対象を拡大することが期待されたが、3月議会で決定された2020年度予算に盛り込まれたのは9自治体となり、福井市をはじめ5自治体は拡大をせず中学3年までと、全面的に県の助成に乗るということになった。このことを受け、福井県社保協は他の団体と共同で福井市に、助成対象の拡大を求める要請をしたが、今年の10月から実現する見通しは立っていない。

2～5月の期間は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に社保協としてとりくんだ。感染が拡大し始めた3月に、「国保資格書交付者に速やかに短期証を発行する」ことを県内11の自治体と福井県に要請をした。定例の運営委員会、事務局会議を開催して方針を確認し、中央社保学校に積極的に参加をし、行政への要請行動のとりくみも強めたが、地域社保協づくりには至らず、2020年度の大きな課題となった。

学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ

署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴

自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について

子ども医療費助成の拡大について、2月に福井市に要請書提出。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、資格書交付の国保加入者に速やかに短期証発行を、福井県と福井市など11市町に要請。

議員要請行動について(国会議員、地方議員等) ・特になし	
その他	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 「国の責任で社会保障の拡充を求める請願署名(25条署名)」	
② 「介護改善署名」	
③ 「後期高齢一部負担金2割化反対署名」	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「424共同・地域医療署名」	
⑧ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑨ 「憲法改悪反対署名」	
⑩ その他()	
⑪	
2019年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 8月17日(月)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。